

仏壇を荘厳、華麗に彩る金箔の品質を説明

北島仏壇店が縁付金箔をアピール(美川)

金仏壇を買われるお客 しか、違いがありなが
様が一番分りにくい素 然も、金箔は金箔であり、
材のひとつが金箔だ。金 大半の金仏壇は金箔の説
仏壇の広告には「純金箔」 明なしに販売されている。
という誤い文句がよく使 そうした流れに對して、
われているが、実際の金 金箔の内容を説明してい
箔は「純」ではなく銀や るのが北島仏壇店が行っ
銅を含んだ合金であり、 た新聞広告。同社の広告
金の含有率により五毛色 の中には次のように書か
(金の含有率九八・九 れている。
一%)から四号色(同九 一%)から四号色(同九
四・四三%)までがある。 金箔は、美川仏壇にとっ
加えて製造工程の違いに てなくてはならない貴重
より「縁付金箔」と「立 品であり、ひとつには金
切金箔」の違いがある。 箔で、近年では生産の主
製造方法によって「縁付 流になっています」

金箔は箔打紙に挟まれ 金箔は箔打紙に挟まれ
一万分の数ミリという厚 さまで伸ばされるために、
箔打紙そのものの素材や 箔打紙そのものの素材や
出来不出来が品質に大き 出来不出来が品質に大き
く関わってくる。また、 箔打紙の紙の質感がその
箔打紙の紙の質感がその まま金箔の仕上がりに反
映されるために、縁付と 映されるために、縁付と
立切では見た目の「箔模 立切では見た目の「箔模
様」「箔目」も違う。

北島仏壇店の広告が訴 北島仏壇店の広告が訴
えるように、伝統的工法 えるように、伝統的工法
で作られる縁付金箔の「伝 で作られる縁付金箔の「伝
統的」である所以のひとつ 統的」である所以のひとつ
は、箔打紙の仕込みに つは、箔打紙の仕込みに
よる。箔打紙は伝統的に よる。箔打紙は伝統的に
兵庫県で作られる名塩紙 兵庫県で作られる名塩紙
が最良のものとされ、そ の紙が神淡や卵白などに
浸され、何度も打たれな がら、箔打紙として仕上
げられていく。

かつては縁付金箔こそが かつては縁付金箔こそが
金箔そのものであったが、 金箔そのものであったが、
現在では市場の大半を立 現在では市場の大半を立
切箔が占めるとされてい る。それは立切箔の箔打
紙が量産の可能な工業製 紙が量産の可能な工業製
品であり、価格も非常に 品であり、価格も非常に
安いからだ。

北島仏壇店の広告では、 北島仏壇店の広告では、
縁付金箔の価格は立切金 縁付金箔の価格は立切金
箔に比べて二倍以上とし 箔に比べて二倍以上とし
ているが、一本の仏壇に ているが、一本の仏壇に
千枚の金箔が使われ、縁 千枚の金箔が使われ、縁
付金箔と立切金箔の価格 付金箔と立切金箔の価格
差が七十四であるとする 差が七十四であるとする
ば、材料費の違いは七万 ば、材料費の違いは七万
円。百円の違いであれば 円。百円の違いであれば
十萬円の違い。この価格 十萬円の違い。この価格
差を大きく見ると、小売 差を大きく見ると、小売
店、さいと見るかは、小売 店、さいと見るかは、小売
店の製品仕入れの哲学の違 店の製品仕入れの哲学の違
いである。

「伝統工芸を誇る美川仏壇 以上上の伝統と実績があ
では縁付しか使いません。 りますが、約三十年と歴
それは、縁付には約四百 史の浅い立切には何百年
年以上の伝統と実績があ も品質を保った実績がな
く、三百年以上の耐久性 持たせて造る美川仏壇
を持たせて造る美川仏壇 には使えません。また縁
には使えません。また縁 付の箔打紙には神淡、灰
汁、卵白など自然素材の みが用いられており、化
学薬品を用いる立切に比 べ、人や環境に優しい製
品だと考えるからです。



2003年2月23日に北国新聞に掲載された、金箔の品質を訴求する北島仏壇店の広告